

2012年3月、
「こども花育キャラバン隊」、東松島へ
～大震災から1年、祈りの気持ちを花に託して～

東日本大震災から1年。被災地に関する報道が少しずつ減り、関心の薄れが懸念されています。復旧・復興がなかなか進まない被災地で、せめて私たちにできることは、花で子供たちを笑顔にすること…。そんな気持ちで、「こども花育キャラバン隊」は宮城県東松島市で2度目の花育イベントを行いました。簡単ですが、内容をご報告いたします。開催にあたり、多くの方々に御支援、御協力いただきましたことを心より御礼申し上げます。

花育キャラバン隊 主宰 高倉なを



日時：2012年3月10日（土） 10：00～13:00

場所：宮城県東松島市図書館 <http://www.lib-city-hm.jp/lib/>

テーマ：『2012年春 祈りの気持ちを花に託して』

人数：約50人分（申し込み制、10組×3回 + 当日参加、保護者の希望者など）

- 内容：1、事前に下加工した牛乳パック・ペットボトルに装飾し、自分の花瓶を作る。
2、数種類の切り花の中から、好きな花を7本+葉物3本を選んで花瓶に生ける。
3、メッセージカードや花育ノートに記入。
4、隣のコーナーで「花育スタンプラリー」。

スタッフ：高倉なを（ライター）、上杉幸子（昭和村役場）、長鈴実紀子（北上市役所）、
岡田聡子（団体職員）、栗井晶子（千葉県）、國友映理子（千葉県）、
高橋史昌、船越友美（なにわ花いちば）

NPO 法人 Caring for the Future Foundation Japan(C F F)のメンバー12人
(※C F Fは、フィリピンやマレーシアを中心に、世界の子供たちの就学支援や
青少年育成の活動をしている団体です)

花材：ガーベラ 200本（提供：静岡県花き生産者マーケティング研究会様）

ガーベラ 200本（提供：石巻市桃生ガーベラ部会様）

ランキュラス 220本、スカビオサ 150本、カンパニュラ 70本

（提供：フラワーガーデン寺尾様）

アネモネ 200本（提供：JA信州諏訪 小笠原様）

スイートピー、フリージア 計 150本（提供：栗井晶子様）

ユーカリ「シルバーウェーブ」 150本（提供：波崎グリーンファームズ 宮内様）

ルスカス、ドラセナ、ピトスポラム 計 100本（提供：京橋花き 藤井様）

資材：鮮度保持剤『美咲』小袋 100パック（提供：(株)大塚アグリバイオ様）

牛乳パック、ペットボトル、色画用紙他



オリジナルの花器作り。牛乳パックとペットボトルはスタッフが事前に下加工済み。



花選びタイム。このときばかりは、楽しくて幸せな気持ちで心が満たされる。



選んだ花を、自分で作った花器に生ける。

「花育ノート」記入、「メッセージカード」記入。



使ったお花のことや産地について、スタンプラリー形式で楽しみながら学習。



完成した作品を見せてくれました。



当日は雪がちらつく天候で、急に来られなくなったご家族もありました。

使いきれなかった花は、たくさんのお花束にして来館のみなさまに差し上げました。



2011年10月、第1回花育キャラバンは「図書館祭り」内に出展という形で行いました。

古本の無料配布や飲食の屋台などでにぎわう。

一角に設けた花育コーナー。



自分で花を生けるのは初めて？

できあがりの笑顔！

花育ノートに記入。



東松島市の様子。図書館は浸水を免れたが、周辺はまだまだ手つかず。

石巻市の県道。



現地はまだまだ復興とは程遠く、津波に流されたままの土地が広がっています。ひとりでも多くの方が東北に足を運び、その体験を周囲に話し、関心を維持し、次の人を呼び込む、小さいながらもそんな流れを「花育キャラバン隊」で作っていかれたらと思っております。

今後とも皆様のご指導、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

ライター 高倉なを

(※スタッフとして参加ご希望の方はご一報下さい。基本的に現地集合現地解散です。)